

さっぽろ連携中枢都市圏地域公共交通活性化協議会 令和5年度第2回総会
会議録（要旨）

1. 概要

- 1) 開催日時 : 令和5年5月10日(水) 13:30 ~ 14:30
- 2) 開催方式 : 対面・WEB会議併用
- 3) 場 所 : かでる2・7 710会議室
- 4) 対象機関 : さっぽろ連携中枢都市圏地域公共交通活性化協議会の全構成員
(うち、27名参加)
- 5) 議 事 :
 1. 開 会
 2. 挨拶
 3. 協議事項
さっぽろ連携中枢都市圏地域公共交通計画(原案)について
 4. 閉 会

2. 配布資料

- ・ 次第
- ・ 出席者名簿
- ・ 資料 : さっぽろ連携中枢都市圏地域公共交通計画(素案)
- ・ 追加配布資料 : さっぽろ連携中枢都市圏地域公共交通計画(素案)概要

3. 議事内容

3-1 協議事項 : さっぽろ連携中枢都市圏地域公共交通計画(原案)について

- ・ 事務局より、令和5年第3回協議会で示した、さっぽろ連携中枢都市圏地域公共交通計画(6章1節まで)の内容について、その後の主な変更点を説明した。また、同計画の6章2節以降の概要を説明した。

【質問・意見等】

(JR北海道バス) : 計画素案p94の問題点③について、「運転手不足が深刻化し、バス路線維持に影響を与える可能性がある」と整理されているが、運転手不足による減便等の影響は既に出ている状況のため、「可能性がある」という記載を見直していただきたい。

(事務局) : 実態として影響が出ているということですので、見直しを検討する。

3-2 その他 : 今後のスケジュール等について

- ・ 事務局より、今後のスケジュールについて説明し、パブリックコメントの実施に向けた広報活動への協力等の依頼を行った。
- ・ パブリックコメントで上がった意見に対する検討・対応については、事務局に一任いただくことで、委員の承認を得た。

【質問・意見等】

(札幌運輸支局)：計画の策定後に施策を実施して PDCA サイクルを回していくことになると思うが、先ほど委員からも意見があった通り、バス運転手不足は非常に厳しい状況にあり、対応が急がれる部分かと考えている。この課題に対応した取り組みとして、「就職活動イベントの実施」や「魅力発信等の広報活動」があげられているが、現状として具体的な実施内容や進め方等について考えがあれば伺いたい。

(事務局)：就活イベントの実施や移住イベントにおける広報等について構想はあるが、道の予算が決定していない状況のため、現時点で明確に申し上げることが難しい。引き続き、委員の皆様にも協力をお願いしながら取り組んでいきたいと考えているため、予算の決定後に改めて相談・調整させていただきたい。

(札幌運輸支局)：運輸局としても、継続した取り組みの必要性は感じているため、協力しながら対応していきたいと思う。

(JR北海道バス)：計画の付属資料として乗込み調査結果が示されているが、例えば計画素案 p119 の小樽線は早朝に小樽を出発する便(復路1便)で小樽市内の利用者がほとんどいないような状況で、こういった路線が毎日運行されている状況がある。今後、バス路線を維持していけるのかということを考えるうえで、こういった結果を参考にさせていただければと思う。

(事務局)：ご意見いただいた通り、今回の計画策定に向けて実施した 20 路線の調査について、細かい結果を付属資料に記載しているため、委員の皆様にも参考としてご確認いただければと思う。

以 上